

<p>【本校の学校教育目標】 郷土を愛し 体験を 自己実現の力に変える児童の育成 ～「気づき、考え、実行する」熊っ子～</p>	<p>【本年度の重点目標】</p> <p>◇学校経営 ○学校運営協議会による熟議を通じた地域ともにある学校づくりを進めるため、学校・家庭・地域の課題・目標・活動・評価の共有化</p> <p>○小規模特認校及びコミュニティースクールとして、地域学校協働活動を軸とした教育課程(体験活動)の積極的な工夫・改善</p> <p>○授業力の向上を目指す効果的な複式授業の追究</p> <p>◇教育指導 ○【学力アップ】意欲をもって主体的に学び続ける児童の育成</p> <p>○【社会力アップ】気後れせずに周囲に接し、活動等を通して他者（なかま・保護者・地域等）とよりよくつながる児童の育成</p> <p>○【生活力アップ】基本的な生活習慣・学習規律が身についた児童の育成</p> <p style="text-align: right;">主体的に自分の考えを構築し、表現・交流しながら学びを深めることができる授業づくり</p>
---	---

[4：大変良い 3：よい 2：あまりよくない 1：よくない]

観 点	評価指標・自己評価	職員	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
組織・運営	<p>学校教育目標や重点目標を意識して、目的意識をもって取り組む。</p> <p>・機会を見つけ、学校教育目標を提示し、全職員で共通認識を図る。</p>	3.3	<p>・しっかりとした目標を立てて、活動が出来ているので、地域も協力ができている。</p> <p>・先生たちが協力して、役割分担ができていると感じる。</p>	<p>◇節目、節目を意識し、共通理解を図りながら方向性をもとに教育目標を達成していく。</p> <p>◇子ども達の意欲を大切に、自己選択・自己決定を意識した取組を行う</p> <p>◇今までの取組をさらにじゅうじつさせ、子どもの実態を踏まえ、新しい取り組みを創造する。</p>
	<p>主たる担当の校務分掌で、1カ月前に提案して積極的にリーダーシップを取り、評価・改善（事績に記入）を行う。</p> <p>・年間計画をもとに早めに提案する。また、事後に振り返りを行い、次年度に向けて改善点を明らかにする。</p>	3.5		
教育課程の実施	<p>週案を活用して、授業時数を確保し、めあて達成の記入により、質的管理を行う。</p> <p>・限られた授業時数の中で、授業時数のバランスを確保した教育課程を編制していく。。</p>	3.3	<p>・年々充実していっていると思う。</p> <p>・しっかりと授業が行われている</p>	<p>◇子ども達の力の不足しているところをどのように鍛え力をつけていくかを検証。小小連携を視野に入れていく。</p>
総合所見	<p>○保護者や地域の理解・協力の下、全職員の協働により、内容を新たに作り直しながら徐々に実施できるものを増やしてきた。次年度は、本年度の経験を生かし、人数が少ないからこそできること、小小連携など新たな創造を念頭に、更に円滑な校務運営の推進と教育活動の充実に努める。</p>			

観 点	評価指標・自己評価	職員	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
学力向上	学力向上を目指す授業づくり	「熊小授業の進め方(めあて[児童自ら発表]⇒見通し⇒一人学び⇒友だち学び⇒まとめ⇒「わがや」タイム⇒次時は～)」を徹底し、児童に学び方の定着を図る。 ・「ふり返し」を通して、課題意識や学習意欲を高められる世にしていく。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級にもかかわらず先生型の創意工夫が活かされ、嘉麻市内の平均より上位にあることは素晴らしい。 ・学力検査の結果等で子どもたちに学力がついていることがわかります。 ・地域学力 NO1 校としてもっと自信を持っていいと思います。 	◇授業研究を通して、効果的な複式の授業づくりを進める。 ◇子どもたちが主体的に学習に取り組めるような授業づくりを進める。
		学習規律の確立を目指す。(チャイム・聞き方・発表の仕方・姿勢・忘れ物〇、筆箱の中身) 【生活力アップ】	3.3		
		・「学びの準備体操」を通して、学習準備の定着を図る。			
	学ぶ意欲	主体的・意欲的に学習に取り組めるように単元構成や課題の出し方等授業づくりを工夫を行う。 【学力アップ】	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との活動に参加して終了後の感想を手を挙げて積極的に発言していることは素晴らしい。 ・少ない人数なのに、絵も作文もたくさん入賞していて、素晴らしい指導ができています。 ・少人数の中で多様な方法を求めるのは難しいと思います。「テレビ会議」等、他校との交流は？ 	◇自己選択、自己決定の場面を作り主体的に学びに向かう環境を作り、学びの主体者としての気持ちを持たせる。 ◇「コミュニケーション力」を高めるために場の設定の工夫を行う。
		・自分の考えを持ち、相手に伝えることを意識しながら表現する場を作る。			
		多様な方法で意見や考えをのびのびと伝え合えるような場の工夫を行い、対話力を高める。	3.3		
		・相手の考えを取り入れながらより良いものを作り出していこうとする気持ちを育てる。			
	学力の基礎を培う	家庭学習定着率90%以上を達成し、書き直しややり直しを徹底する。【教育課題】	3.5	家庭での学習は、しっかりと家庭と話し合っ、保護者への協力態勢を今まで以上に取ってもらいたい。	◇児童の実態に合わせた課題や家庭学習について検討し、学習の習慣化を図る。 ◇カスタの活用を通して、個別の課題に適応した学習を進める。
		・「少メディア週間」の取組等を等して家庭学習の習慣化を図る。 児童の実態に応じた補充学習等により、テストに向けての対策や弱点の克服を進める。			
		・カスタ(学習端末)等を活用しながら、一人ひとりに応じた学習や家庭学習ができる体制づくりを行う。	3.8		
	家庭・地域との連携	児童と地域とのかかわりを意識させ、地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動の実施や工夫・改善を行う。 【社会力アップ】	4.0	・地域行事に積極的に参加して地域と学校の連携がうまくいっている。	◇活動を通して子ども達につけたい力を明確にし、計画的・系統的な地域学習を行う。

	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達につけたい力を明確にし、系統的に地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動を進めていく。 		<ul style="list-style-type: none"> 「熊っ子だより」を地域紙と連携させ、さらによいものにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「ふるさと学習」の位置づけを明確にし、子ども達へ嘉麻市の良さを実感させる。 ◇日常的に、保護者と情報共有を図り、関係づくりを進める。
	<ul style="list-style-type: none"> 迎える時や電話連絡、家庭訪問等で、保護者と話し、子どもの様子など情報を積極的に把握する事ができたか。 	3.8	<ul style="list-style-type: none"> もちつき大会は多数の参加があり地域と学校のつながりを深める活動であり、「今後も続けていってほしいと思います。 運動会の中身は、公民館、保護者老人会等とさらによいものになるように検討をする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から、保護者との関係づくりを進め、保護者と家庭で課題やつけたい力を共有していく。 		<ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクールとしてもっと接点を作ってほしい。地域は待っています。 	
総合所見	○学力向上の取組の効果がある程度上がっている。さらに、児童が主体的に学習に取り組める意欲づくりに向けた取り組みを創造していく。			

観 点	評価指標・自己評価	職員	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
体力向上	外遊び等を奨励し、体力アップシートを活用して児童の体力向上を図る。	2.6	<ul style="list-style-type: none"> 公民館合同運動会を実施する中で、子ども達と交流を図ると共に体力の実態を知ることができました。 家庭学習における家庭の役割を発達段階に応じて明らかにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇一人ひとりの体力の実態に合わせ、進んで体力向上に取り組むような、目標設定、場の工夫を進める。 ◇複式の授業についての工夫・改善を組織的に進める。
	一人ひとりに合った目標設定をし、体力アップシートを活用しながら、体力づくりを進める。			
	「早寝・早起き・朝ごはん・少ゲーム（含 You Tube）」の日常化に向けて、児童や家庭の実態に応じた手だてを講じて、改善を図る。 【生活力アップ】	3.		
	「保護者と学ぶ規範意識講演会」等を活用しながら、保護者とも課題を共有しながら、「早寝・早起き…」の取組を行う。			
総合所見	○体力についても個の実態に応じた取組の工夫が必要だと思う。 ○基本的な生活習慣や情報モラルについては、PTA等とさらに連携を深めていく。			
観 点	評 価 内 容	職 員	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価

豊かな心の育成	豊かな心	なかま・保護者・地域とよりよくつながるために、日常の挨拶や返事、丁寧な言葉遣い、相手に対する接し方等好ましい人間関係を作りを進める。 【社会力アップ】	4	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、あいさつがきちんとできている。 「熊っ子まつり」での先生方子ども達、全校での合奏、すばらしかったです。一体感がありました。 型にはめる必要はないと思います。少々乱れてもおおらかに「いいところ探し」を続けてほしいです。 	◇「ふわふわ言葉・ちくちく言葉」の指導を全職員で徹底して行う。 ◇言葉遣いについて、職員で共通して、即時の指導を行う。
		<ul style="list-style-type: none"> 言葉遣いについて全職員で即時、その場で指導を行う。 			
	いじめをなくす取組	いじめの防止・早期発見・対処について常に気を配り取り組む。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> いじめの早期発見、早期対応は今後ともお願いしたい。 	◇生徒指導委員会で児童の状況を早期に確認を行い、必要に応じて対応を検討する。 ◇日頃の児童の様子を丁寧に見取り、いじめの未然防止に努める。
	<ul style="list-style-type: none"> いじめ研修などで、対応について話し合い、みんなで実践を進めていく。 				
規範意識	学校におけるきまりやルール、約束などに基づいて、主体的に判断し行動しようとする気持ちを育てる。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 全体的にできていると感じる。 	◇気になることは、全職員で指導していく体制を作る。	
	<ul style="list-style-type: none"> 頑張りをもめ、意欲につなげる。 				
総合所見	○「ことば」や「あいさつ」等についての取組は、よくできた。自分・まわりの友だちを大切にしている気持ちも育っているが、馴れ合いだったり、個々によっては、課題等の克服が未だ成っていなかったりする。ソーシャルスキルトレーニングなどの実践も必要とされている。次年度は、メタ認知、非認知能力を高め、心のより豊かな成長を目指して、さらなる道徳教育や体験活動の充実・活用と、ケース会議を組織するなどして個への対応を推進することが必要である。				

観点	評価内容	職員	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価
主題研修等	主題研修の推進等	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っていると思う。 職員の研修意識の向上が素晴らしいです。 複式学級での国語は、授業時数も多く、日々の積み重ねが主題研修につながると思う。 	◇効果的な複式・少人数授業に向けて、指導主事を招聘し、各学級1回の授業研究を行う。(事前研、授業公開、事後研) ◇研修に行ける職員体制と、還元研修を充実させる。
	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事を活用し、主題研究の充実を図る。 			
	積極的な校外研修への参加、還流研修会の実施を通して研修内容を日常の教育活動に生かす。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ベテランの先生方ばかりなので子ども達の学力を伸ばしていると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中等に還流学習会の場を設け、それぞれ 			

		れが学んできたことを交流していく。 ・還流研修会がもてないときは、資料やまとめたものを配布していく。			
総合所見	〇ら宇年度の研究発表を受け、本年度も「食育」の授業について指導主事を招いて研修ができた。来年度、発表会とる。				
観 点	評 価 内 容		職 員	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価
環境構成等	環境構成等	児童の安全確保・安全管理に努め、緊急対応のマニュアルを熟知し、実動できるように準備する。 ・熱中症対策の徹底。	3	・近年の異常気象に伴う猛暑に対する取組がよくされている。 ・運動会の本番だけでなく、練習においても熱中症対策が徹底されていたようだ。	◇多様な状況に対応できるように、それぞれのマニュアルを作成し、職員が対応できるような環境を整える。
	環境構成等	教室や廊下の掲示物や作品には、学習の振り返りや達成感、発展を促す工夫を行ったか。 ・学習の足跡が残るような掲示を工夫する。	3	・教室や廊下の掲示物に「子ども達の学習成果がよくあらわれています。 ・作品展入賞の割合も他校に比べて高いように感じました。先生方の指導のたまものだと思います。	◇年間を通して、児童の学習・活動の様子が分かるように、掲示物を工夫する。 ◇児童に興味を持たせるために定期的に掲示物の入れ替えを行う。
	環境構成等				
総合所見	〇日常的な安全点検についても徹底し、その結果の交流を行う。				